

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

< 認知症対応型共同生活介護用 >

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	670400738
法人名	有限会社 三友医療
事業所名	さんゆうグループホームふいりあ
訪問調査日	平成 20年 10月 8日
評価確定日	平成 20年 11月 29日
評価機関名	特定非営利活動法人 エール・フォーユー

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	670400738		
法人名	有限会社 三友医療		
事業所名	さんゆうグループホームふいりあ		
所在地 (電話番号)	山形県米沢市万世町桑山4660番地 (電話) 0238-28-5720		
評価機関名	特定非営利活動法人 エール・フォーユー		
所在地	山形市檀野前13-2		
訪問調査日	平成20年10月8日	評価確定日	平成20年11月29日

【情報提供票より】(平成20年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年4月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	7人	常勤	5人, 非常勤 2人, 常勤換算 6人

(2) 建物概要

建物形態	併設 / 単独	新築 / 改築
建物構造	木造 造り	
	2階建ての	階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	A 35,000 B 38,000円	その他の経費(月額)	12,000円	他実費
敷金	有()円 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250円	昼食	300円
	夕食	300円	おやつ	150円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名	
要介護1	1名	要介護2	1名			
要介護3	4名	要介護4	2名			
要介護5	1名	要支援2	0名			
年齢	平均	87歳	最低	73歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	たかだ内科・米沢市立病院・足立歯科
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園地帯と新興住宅街に囲まれ、目の前には公園があり、春には満開の桜の下で花見や、日々の散歩コースと利用され、恵まれた環境の下に位置されています。会社の女子寮の既存の建物を利用し、1ユニット9名、女性ばかりで「自由に楽しくゆっくりと」「思いやりと笑顔の中で」「地域とともに」と親しみやすい理念を掲げています。ホーム名「ふいりあ」はギリシャ語で「愛がある」という意味で、アットホームな雰囲気のもと、地域の中でより安心してケアを受けられる体制を作っているホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	置賜ブロック連絡協議会等の研修会には全職員が交替で出席し、他事業所との相互訪問、交換実習等を行い、交流を図り改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は職員全員で、各項目毎に協議し合い、評価結果も全員で共有している。前回の課題である他事業所との交流についても自己流にならないよう情報収集し相互訪問や交換実習等を行い意識を高めサービスの向上に繋げている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は2ヶ月に一度開催され、外部からのメンバーは利用者、利用者家族、社会福祉協議会OB、地域代表、市職員が出席し、ホームの活動状況、各回毎のテーマ、評価結果報告等を話し合いサービスに活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	玄関には意見箱を設置し、家族の面会時等には何でも話してもらえよう、一緒にお茶を飲みながら声掛け等の雰囲気づくりを大切に、自己評価、外部評価結果等を家族に送付している。運営推進会議、ホーム夏祭り、敬老会には全家族に参加を案内している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の自治会に加入し、夏祭りや公民館事業にも参加している。ホームの夏祭り等の案内は公民館だより等に載せて頂き、地元の人たちやボランティアの参加を得ながら行われ、中学生の職場体験等の受け入れや近隣の美容院、スーパーの利用、散歩中には近所の人にあいさつを欠かさず、野菜等の差し入れもあり、常に交流することに努めている。

2. 評価結果 (詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し合い、実行できるものを具体的にした親しみやすい理念を掲げ、地域のつながりを大切に安心して暮らせるように作りあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の朝礼時には職員全員で唱和をし、食堂、厨房には誰もがすぐ見えるところに掲示し、会議、勉強会等でも理念を確認し合い、言葉使いに留意しながら日々のサービスの中で実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会に加入し、夏祭りや公民館事業にも参加している。ホームの夏祭り等の案内は公民館だより等に載せて頂き、地元の人たちやボランティアの参加を得ながら行われ、中学生の職場体験等の受け入れや近隣の美容院、スーパーの利用、散歩中には近所の人にあいさつを欠かさず、野菜等の差し入れもあり、常に交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員で、各項目毎に協議し合い、評価結果も全員で共有している。前回の課題である他事業所との交流についても自己流にならないよう情報収集し相互訪問や交換実習等を行い意識を高めサービスの向上に繋げている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に一度開催され、外部からのメンバーは利用者、利用者家族、社会福祉協議会OB、地域代表、市職員が出席し、ホームの活動状況、各回毎のテーマ、評価結果報告等を話し合いサービス向上に活かされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議には市職員の参加があり、相談、連絡など常に情報交換等をしている。介護相談員2名を毎月受け入れ、利用者とは顔なじみとなりお茶を飲みながらゆっくり話を聞いてもらっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ふいりあ通信を毎月発行し、暮らしぶりや健康状態、職員の異動等を書き添え、写真、現金出納帳と共に家族に送付している。家族の面会時には金銭管理簿を確認してもらい、電話等でも常に状況報告をしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関には意見箱を設置し、家族の面会時等には何でも話してもらえよう、一緒にお茶を飲みながら声掛け等の雰囲気づくりを大切に、自己評価、外部評価結果等を家族に送付している。運営推進会議、ホーム夏祭り、敬老会には全家族に参加を案内している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	同一グループ内の異動はあるが、異動の時は引き継ぎの時間を出来るだけ多く持つように心がけており、スムーズに移行し、利用者と早く顔なじみの関係になれる様、職員から積極的に声掛けするなど、配慮を行っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全ての職員が毎月開催されるグループ全体の研修会に参加している。ホーム独自の研修会等も毎月開催し、外部研修会に参加した職員による報告発表や各テーマに沿った勉強会など全員で共有し、サービスの質の向上を図っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム連絡協議会、置賜ブロック連絡協議会に加入しており、定期的な研修会や相互訪問、交換実習に職員が交替で参加し、活動を通じて交流を深めサービス向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 馴染みながらのサービス 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	同一グループで「ありがとう経営」運動を推進しており、「利用者は人生の先輩」として学ぶことが多く、職員は敬意と常に感謝の気持ちを持って、穏やかに自由に生活できる様に共に支えあう関係を築いている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は声掛けを大切に、工夫をしながら日々の関わりの中で、表情やちょっとした言葉から本人の思いや意向を把握するよう心がけている。意思疎通の困難な場合は家族等から情報を得ている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本人、家族の要望や状況変化等を考慮しながら職員全員で話し合い、時には主治医の意見等も取り入れ、一人ひとりがより良く暮らせる様に介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月毎の定期的な見直しの他に、本人や家族の希望、及び本人の状態の変化に応じて関係者で話し合い、随時見直しの介護計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	本人や家族が希望する馴染みのかかりつけ医には、家 族の協力で受診している。ホーム協力医の月、2～3回 の往診もあり、服薬支援など適切な医療が受けられて いる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	重度化や終末期に向けた方針について、契約、入居 時に本人、家族等に十分説明をし納得を得ている。状 況変化等の場合は家族、職員、かかりつけ医、協力医 療機関等と連絡を密にしている。急変・緊急時マニユ アル等を職員が常に目を通しやすい食堂、厨房に掲示 し、対応の共有を図っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをして いない	日頃から利用者の自尊心や、プライバシーを傷つけない よう、声掛けや言葉使いに留意している。面会簿や 記録簿等個人情報の管理に配慮し、職員の意識向上 に向け取り組んでいる。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日どのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの基本的な一日の流れはあるが、一人ひとりの 体調やペースに合わせて利用者の表情などを配慮しな がら食事や入浴の時間の変更など柔軟な対応をして いる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	同一グループの管理栄養士による献立を参考にしながら利用者の希望や、季節の食材を取り入れ、独自のメニューを考え、一連の作業を職員と共に行い、同じテーブルを囲み、外食の希望を取り入れたたり、食事が楽しみの一つになっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者のその日の調子や希望を取り入れ、順番なども工夫し、ゆっくり楽しんでもらえるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の生活の中で、一人ひとりの得意な事や好きな事を見つけ出し、その人に合った役割や楽しみごとが出来るように支援している。グループ内施設にDVD鑑賞や、コンサートに出かけたりしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くにポスト、公園があり、散歩コースになっており、近所のサービスセンターに立ち寄りたり、地域の人と会話をしたり、季節を感じながら車イスにも対応し、外出を楽しんでもらっている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	夜間以外、日中は常に玄関を開放し、個人個人の行動パターンの把握に努力し、いつでも自由に外出できるように声掛けや、安全面にも工夫配慮している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回春と秋には夜間を想定した避難訓練を実施しており、防災会社の指導を受け避難誘導、消火器の使い方などを訓練している。また、近所にも書面にて、避難訓練の参加や、緊急時の協力をお願いしている、災害に備えて缶詰、ペットボトルなども備蓄している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立、栄養バランスについては、グループ内の管理栄養士にアドバイスを受け、毎日の食事摂取量や、水分摂取量をチェック表に記録し確認している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関、ホールには、標語、思い出の写真、屋外から摘んできた草花、季節を感じさせる装飾があり、生活感を取り入れ、家庭的で居心地の良い空間になっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>A,Bタイプの居室があり、居室の入り口には、顔写真入りの氏名札があり、防災カーテン、カーペットを使用し、一人ひとりの希望にベットや布団等に対応し、馴染みの物を持ち込み、居心地良く安心して過ごせる様に配慮している。</p>		